

つ市議会だより

第71号

令和5年11月16日

令和5年第3回津市議会定例会……………	2
議決結果一覧表……………	11



外観



雨水ポンプ



自家発電装置

天神ポンプ場（高茶屋小森上野町）が供用開始！

津市では、浸水対策事業として、市街地において浸水リスクが高い15の重点対策地区から、計画的に幹線水路やポンプ場などの整備を進めています。

天神ポンプ場は、ポンプを活用し、道路などに降った雨水を河川（相川）に強制的に排水する役割を担っています。



令和5年第3回津市議会定例会

令和5年第3回定例会が、8月28日から9月27日までの31日間、開催されました。



閉会日の様子

議案質疑 一般質問

今期定例会では、9月4日から7日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から各議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……藤田 定彦（津みらい）、長谷川 植（未来開拓）
- 4ページ……山路小百合（津市創成）、倉田 寛次（津和会）
- 5ページ……福田 慶一（市民の声）、田矢 修介（希望の風）
- 6ページ……青山 昇武（公明党議員団）、坂井田 茂（津教育未来）
- 7ページ……岡村 武（至誠会）、八太 正年（自由民主党市議団）
- 8ページ……滝 勝弘（日本共産党津市議団）

個人質問

- 8ページ……小島 晴美
- 9ページ……安積むつみ、青木 秀晃
- 10ページ……伊藤 哲也、柏木はるみ

会派の構成

津みらい

- 石川 禎紀 伊藤 哲也
- 藤田 定彦 ☆柏木はるみ
- 田中 千福 岩脇 圭一
- ◎吉田 博康 佐藤 有毅

津和会

- ☆保田 勝平 ◎伊藤 康雄
- 青木 秀晃 川口 和雄
- 辻 美津子 倉田 寛次
- 佐藤 知子

津市創成

- ☆中田 耕平 吉川 一正
- ◎山路小百合 小野 欽市

公明党議員団

- ◎ 堀口 順也 安積むつみ
- ☆ 小島 晴美 青山 昇武

日本共産党津市議団

- ◎ 滝 勝弘 中野 裕子

一期一会

- ◎☆桂 三発

至誠会

- ◎ 岡村 武

津市民の会

- ◎ 渡辺 晃一

一津会

- ◎ 田中 勝博

津教育未来

- ◎ 坂井田 茂

未来開拓

- ◎ 長谷川 植

市民の声

- ◎☆福田 慶一

希望の風

- ◎ 田矢 修介

自由民主党市議団

- ◎ 八太 正年

◎代表者 ☆議会だより編集委員

つ 津 み ら い

ふ じ た さ だ ひ こ
藤 田 定 彦

録画映像



問 日曜劇場「下剋上球児」を利用したシティプロモーションを

このドラマは、10年連続、県大会初戦敗退の弱小校であった三重県立白山高校が、2018年にまさかの甲子園初出場を果たすまでの軌跡を描いたノンフィクションの菊地高弘氏の著書「下剋上球児」が元となったものである。

津市を全国に売り込むチャンスだと考えるが、津市が持っている情報にはどのようなものがあるのか。また、津市としてできることは何か。

答 制作会社と連絡を取り合い、積極的に津市をPRしていく

ドラマのロケは、県内では伊勢志摩、四日市市、松阪市で行われたとの情報を得ているが、フィクションであるため、ドキュメンタリーに沿って津市内で行われるということにはならないと思われる。このドラマの放送により、多くの視聴者に当時の白山高校の活躍や、白山地域のことを思い浮かべていただければ、津市としてシティプロモーションの一環になると考える。

これまででも制作会社に対し、津市内でのロケを打診してきた。引き続き、制作会社と連絡を取り合いながら、例えばSNSでの発信、パネル展などの情報発信ができないか、積極的に考えていく。

その他の質疑・質問

- 議案第55号 津市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について
- 市道の管理について
 - 交通量の多い市道の草刈りの業者委託は
 - 刈った草の処分は
 - 草刈り作業時に発見されるゴミの処分は
- 学校プール共用化による水泳授業について

▶ 白山高校近くの商店に設置された大きな黒板



み ら い か い た く
未 来 開 拓

は せ が わ う へ る
長 谷 川 植

録画映像



問 津市の生活保護制度の実態について問う

物価高騰の中、退職された方は収入がなくなり、年金生活でのやりくりは非常に難しいという声をよく耳にする。生活保護制度の下で生活している高齢者も多いのではないかと思います。

そこで、津市で生活保護を利用されている方の人数や決算額、このうち外国籍の方の人数は。また、被保護者の自立に向けた支援や被保護者からの聞き取り、相談はどのように行っているのか。

答 令和5年6月末現在、2,975人が生活保護費を受給している

津市の生活保護受給者の状況は、令和5年6月末現在、2,975人で、そのうち、外国籍の方は220人である。また、令和4年度の決算額は、48億1,348万135円である。

稼働能力を有する被保護者に対しては、就労指導を行うとともに、求職活動の支援を行う就労支援員を配置し、ハローワークの担当者と連携して早期就労に向けた支援を行っている。

また、ケースワーカーが各担当の被保護者の家庭へ訪問し、生活状況や求職活動状況などを聞き取り、自立に向けた支援を行うとともに、困りごとなどの相談を受けている。

その他の質疑・質問

- 台風第7号における「避難体制」について
 - 避難所を開設するルールは
- 「少子化」について
 - 津市の出生数、合計特殊出生率の推移は
- 「認知症」について
 - 認知症賠償責任保険の内容は
- 「生涯現役」について

▶ 地域で開催されている認知症サポーター養成講座





問 津市の公立保育所に在園する女児の死亡事案について問う

津市で4歳の女児が母親の暴行により死亡に至るという痛ましい事案が起こったが、津市の関係部、県の児童相談所に聞き取りに伺うと、女児を長期間見ていないとのことであった。

その後の経過と津市の対応は。また、今後二度とこのような事案を起こさないためには何が重要であるか、津市としての考えを問う。

答 再発防止のため県と津市が連携した対応が必要である

県では3つの組織が設置され、状況把握等が行われているほか、対面による児童の安全確認の徹底、関係機関との連携強化などの再発防止策が打ち出されている。津市では関係機関との連携強化に向けた要保護児童対策地域協議会の運営改善の検討や、対応継続中のケースの安全確認を行っている。県と津市が連携し、それぞれの権限と責任を踏まえた対応が必要で、津市としては同協議会の調整機関として児童相談所への積極的な提案も重要と考える。民生委員・児童委員との連携強化、ケースワークの充実など、今後のこども家庭センターの設置も視野に入れて対応を強化していく。

その他の質疑・質問

- 中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援事業について
 - 支援金の給付手続きについて
 - 子ども食堂について
 - 休日保育について
 - 大門エリアの価値の向上について
 - 農業について

など

県をはじめとする関係機関としっかりとした連携を



問 新最終処分場の整備に当たり地区から出された要望の実現を

平成28年4月1日に供用開始した津市一般廃棄物最終処分場の整備に当たり、下之川地区から出された25項目の要望については、県事業も含め、処分場の埋立期間である15年の間に実施されなければならないと考えるが、実現に向けた取り組みが一向に進んでいないように感じる。

処分場の供用開始から約7年半が経過したが、現時点における進捗と今後の計画は。

答 地区の皆さまと相談の上、工夫をしながら努力していく

地区の皆さまと相談し、最重点項目として位置付けた5項目の事業を推進しているところであり、現時点では、25項目のうち12項目が未着手（うち2項目は代替手段により対応済み）となっている。

また、25項目以外にも、毎年地区の皆さまと協議の上、必要な道路整備や河川整備等に対応しているところである。

地区の皆さまのまちづくりの思いは十分に受け止めており、その思いに応えられるよう、今後も地区の皆さまと相談の上、工夫をしながら、関係部局が連携して努力していく。

その他の質疑・質問

- 報告第25号 専決処分報告について
- 公共施設の管理について
- 浄化槽の保守点検について

平成28年4月1日に供用開始した美杉町下之川の津市一般廃棄物最終処分場





問 人口減少時代のZ世代の行動特性に関連しての市政運営は

石阪埼玉大学教授の研究によると、Z世代は自分らしさや効率性を重視し、承認欲求が強く、物欲は低い。就職では安定性や働き方の選択を重視し、結婚や子育てに対しては消極的である。このような行動特性を無視して地方創生や人口対策を考えることはできない。市長はこの行動特性についてどう考えるか、そして「こどもまんなか社会」の実現に向けてどうアプローチするかを問う。

答 若者が思っていることを的確に捉え政策を展開していく

Z世代は少子化や高齢化が進む縮小基調の社会を窮屈に感じ、自分の居場所の確保ということで周囲から認めてもらいたいという承認欲求があり、フラットなコミュニケーションを好むこともSNSで発信したことへの反応がダイレクトに返ってくるのが日常になっているからだと分析する。「こどもまんなか社会」は、子育てに要する社会的な負担を社会全体で負担するという考えに基づくもので、子育て支援は福祉政策からこども政策へと転換しつつある。津市の子ども医療費助成等の所得制限撤廃もその流れで行うもの。若者の思いを的確に捉えそのための政策を展開していく。

その他の質疑・質問

- 地域脱炭素推進事業について
- 「認知症基本法」の成立を受けて
- 津市の森林管理について
- 消防本部の女性活躍に向けた取り組みについて
- 設計委託の変更契約について
 - 変更契約の件数は
 - 変更契約のルールと適正な運用について

住宅の屋根に設置されている太陽光発電設備。地域脱炭素の推進が求められている



提供:iChoosr株式会社



問 津駅西口の在り方を問う

津駅西口の現状における課題はどのように整理されているのか。

また、津駅西口駅前広場は混雑により危険な状況にあり、バスの運行事業者などからも安全対策を求める切実な声が上がっている。例えば、ロータリーの中心にある築山を撤去するなど、暫定改修に着手して、危険な状況を早期改善していく考えは。

答 課題解決に向け、エリアマネジメント会議で検討していく

津駅西口の現状における課題として、送迎の車や歩行者などの交通実態を踏まえた交通の整序化、各交通特性を踏まえた乗降場所および動線の設定、快適かつ利便性の高いバス・タクシー乗降場の確保などが挙げられ、課題解決に向けて駅前広場を利用する交通事業者などの関係者が主体的に管理運営方式を検討するエリアマネジメント会議を立ち上げ、検討を進めていく。また、津駅西口駅前広場の築山については、築山を中心に時計回りで一方通行という交通規制が定着しており、単純に築山を撤去するのではなく、本格的な改修を見据えた検討が必要と考えている。

その他の質疑・質問

- 県政要望について、県との連携協力のあり方は
- 危険なバス停の安全対策について、津市内に7か所あると公表されたが、安全対策の進捗状況は
- 津市災害対策図上訓練を見学したが、訓練の目的と狙いは。訓練を実施したことで見えた課題は
- 津市消防本部消防指令センターについて、いたずら等の不適切な通報とその対応は **など**

津駅西口の混雑による危険な状況の改善と安全対策が今も強く望まれている





問 認定調査員不足への対策と今後の取り組みは

要介護認定結果の待機者が非常に多くなっており、介護保険を早期に利用することが必要な市民の方々、それを受け入れる施設、ケアプランを作成する居宅介護支援事業所のケアマネジャー等、いわゆる介護現場において混乱が生じている。

待機者が増大しているのは、認定調査員の不足が理由であると考えます。今後、待機者を減らすための対策と取り組みを行うべきでは。

答 認定調査に遅れが出ないように、委託による調査の増加を図る

これまで認定調査は津市社会福祉協議会へ委託してきたが、更新・変更申請の認定調査は指定居宅介護支援事業所や介護保険施設等に所属する介護支援専門員に委託できることから、7つの社会福祉法人と契約し、8月から調査を実施している。

この他、指定居宅介護支援事業所や介護保険施設の運営法人と認定調査の実施に向けた協議を行い、委託による調査を増やすことで申請件数に対応できる調査体制の確保を図っていく。

今後、認定調査を理由とした要介護、要支援認定の結果の遅れが出ないように、適正かつ円滑な認定事務に努めていく。

その他の質疑・質問

- 御殿場海岸について
- 観光資源の考えは
- 台風第7号の被害対応は
- ため池における水上設置型太陽光発電施設の設置者が自治会等の場合、占用料免除の考えは
- 電子入札の導入について
- ネーミングライツの進捗状況について など

▶ 御殿場海岸における台風第7号の被害状況



問 教員の人材確保のための今後の取り組みは

教育委員会は、8月8日に「『学校で働いてみませんか?』相談会」を実施した。教員免許を所持しているものの一度も学校で働いた経験のない方や、教員免許更新制が廃止されたことを認識されていない方などを対象に開催されたが、これに参加した人数と講師登録に至った人数、そして相談会を含めた今後における教員の確保に向けた取り組みに関する教育施策を問う。

答 教員という仕事の魅力を伝えられるよう努めていく

8月8日に実施した「『学校で働いてみませんか?』相談会」には、前後に相談に来た方も含めると34名の方にご参加いただき、相談会后、14名の方に講師登録をしていただいた。

また、教員の確保に向けた取り組みとして、将来的に教員を目指す学生を増やすため、令和5年度には三重大学の1年生約200名が現場の教員等と少人数グループで行う意見交換会の実施を計画するなど、未来を担う子どもたちを育てるの尊さや、教員という仕事の魅力を伝えられるよう努めていく。

その他の質疑・質問

- 学校・園の保健室における給湯器およびシャワー室（シャワーユニット）の設置状況に関して
- 各学校、幼稚園、こども園での設置数は
- 具体的な有効活用例について
- 全校、園への設置の考えは
- 市県民税普通徴収・軽自動車税種別割・国民健康保険料等のキャッシュレス納付に関して など

▶ 小学校の保健室内に設置されている「シャワーユニット」。全校・園への設置が望まれる





問 補助金の在り方について18年あまり放置してきた市長の責任は

津地区合併協議会において合併後に検討していくとされていた、し尿くみ取りの受け付けおよび料金の徴収に係る補助金の在り方について、市長は検討したと言っているが、幹部職員が集まって検討をしたことは合併後一度もない。市長はうそをついているのではないか。

答 検討をしていないのではなく、検討を継続している状態だ

津地区合併協議会において、旧津市で交付していた当該補助金については、新市に現行のまま引き継ぎ、その後、新市において検討を進めることと決定した。

合併後、担当部において毎年度の予算計上の際に継続して検討を行った上で、現在も今までの形を継続しているもので、関係業者等から今まで当該補助金の在り方を別の形にすべきという具体的な話が届いていないことから、形を変えようとしなかったということであり、うそはついていない。

その他の質疑・質問

- 労働団体への特別待遇について

▶ 補助金について、合併協定書には公平性の観点を踏まえ、均衡を保つように、と記載されている



問 市営浄化槽設置工事に係る憲法および補助金適正化法違反

土地所有者でない者の同意書が添付された市営浄化槽設置申請に基づき、津市は平成29年度に浄化槽を設置し、当該設置工事に係る国庫補助金の交付を受けている。

これは、日本国憲法第29条に定められた財産権の侵害に当たる上、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に違反すると考えるがどうか。

答 不適切な事務であったが、法に抵触するものではない

平成29年度当時の事務手続きに誤りがあったことは認めるが、令和元年5月に浄化槽の申請者が土地所有者から浄化槽設置に係る承諾を得ており、この問題が発覚した令和2年8月時点においては書類が整っている上、浄化槽が適切に現地に設置され、その目的を達していることから、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に抵触するものではないと判断している。また、浄化槽設置後、土地所有者と申請者との間で浄化槽設置を承諾する覚書が締結されており、令和3年10月には申請者が当該土地を取得していることから、財産権の侵害には当たらないと考える。

その他の質疑・質問

- 公共工事の火薬使用による民家破損に対し、被害家屋の現状復帰による補償を
- 三重県から譲り受けたズリの管理状況について
- 成美小学校の学童保育施設等について
- 水産資源の確保のための伊勢湾再生に向けた取り組みの進捗状況は
- メンタルヘルス不調による病気休暇の職員数は

▶ 「つくり、育て、とる漁業」の取り組みとしてハマグリを放流する様子





問 自衛隊への名簿提供で、希望者の提供除外手続きを制度化せよ

津市が自衛隊に自衛隊員募集のための適齢者名簿を提供している問題で、令和5年度から提供方法が変更されているが、どのような判断で変更されたのか。また、18歳および22歳に達する市民は、自分の個人情報の提供を拒否することができるが、申し出があれば拒否できるということを公表しているのか。希望すれば自衛隊へ提供する名簿から除外される手続きの制度化を求める。

答 現状では手続きの制度化は難しいと考えている

法令等に基づく自衛官募集に係る名前等名簿の提供方法については、毎年、自衛隊と協議しており、より個人情報の項目が少なく、相手方に情報が残らない方法として、令和5年度から住所・名前のみを記載した宛名シールでの提供を行うこととした。

また、自衛隊への名簿提供の拒否については、ホームページ等で公表しているわけではない。名簿提供は、法令等に基づく法定受託事務として行っており、受託事務の内容そのものを変更してしまうような制度化は現状では難しいと考えている。

その他の質疑・質問

- 河芸地域の養鰻池埋め立て事業について
- 水道「広域化」について、県の「推進プラン」が出されたが、民営化と併せどう考えるか
- 日本各地で検出されている有機フッ素化合物（PFAS）について、広く調査を
- 文化ホール等施設において、保有するピアノの活用や市民参加型の事業の拡充を **など**

河芸公民館が保有するフルコンサートグランドピアノ「ベーゼンドルファー」



問 高齢者の移動手段の確保について問う

ご高齢の方々が運転免許証を自主返納しマイカーを手放しても安心して生活ができるよう、高齢者の生活者目線に立った移動手段の確保は最重要課題だ。現在開催している津市地域公共交通活性化協議会と地域公共交通あり方検討会では、どのような議論をしているのか。また、新たな移動支援策となるタクシー会社との連携も含めたデマンド型交通の導入に向けた議論の進捗状況は。

答 コミュニティバスのより一層の利便性向上に取り組む

津市地域公共交通活性化協議会では、計画の策定やその評価等を行い、コミュニティバスのダイヤ改正や停留所の新設等の協議を行うなど、津市の公共交通全体の利便性向上を目指して協議している。地域公共交通あり方検討会では、地域の課題、その解決策等の協議を行い、津市地域公共交通活性化協議会へ提言する役割を担っている。また、令和8年度のコミュニティバスの次期再編を見据え、全国のデマンド型交通の運行方式や予算、課題等を調査・分析するとともにタクシー事業者やバス事業者と意見交換を行い、新たな形のデマンド型交通の導入を念頭に検討を進めている。

その他の質疑・質問

- こども・子育て政策の推進について
- こども基金について
- こども基金条例について
- うつ病・自殺防止対策について
- こどものうつ病・自殺防止対策は
- 悩みを抱える大人のうつ病・自殺防止対策は
- 「こころの体温計」アプリ導入について

メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」。結果をイラストで確認できる





問 児童虐待対応マニュアル策定についての津市の考えは

一人一人の子どもが、かけがえのない存在として安全に安心して心豊かに育つため、津市は虐待を含む支援を必要とする要保護児童への適切な対応を目指し、地域や行政等の関係機関がネットワークにより支援を行う仕組みとして津市要保護児童対策地域協議会を設置しているが、各機関がさらに連携を深め、適切な対応や支援を円滑に行うために独自のマニュアルを策定すべきではないか。

答 国の指針等を整理し、活用しやすいマニュアルを作成したい

虐待への対応については、厚生労働省が策定した市町村子ども家庭支援指針や国からの通知等に基づいた対応を基本としているものの、現場の職員の経験や感覚による対応となることもある。

児童虐待対応マニュアルを作成することにより、関係機関が共通した指標で子どもの異変やリスクを判断する重要な情報を共有することができ、初動対応をはじめとする適切な支援につなげることができることから、さまざまな指針や通知等を整理し、関係機関の方々が活用しやすいマニュアルを作成したいと考えている。

その他の質疑・質問

- 児童虐待防止対策について現在の課題は
- こどもの権利条例制定について市の考えは
- 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」について
- 保護者への支援や学びの場の確保、不登校児童生徒の多様な学びの「成績評価」について
- 学校における教員の働き方改革について

厚労省の体罰によらない育児を推進するパンフレット。体罰は脳の発達に深刻な影響を与える



問 全職員に対するスマートフォンの配付について問う

スマートフォンを全職員に配付することで、業務の効率化が図られ、ひいては市民サービスの向上につながると考える。現在、固定電話の交換機が更新時期にあるとともに、固定電話は社会インフラとしても規制により、ようやく維持されている状況であると認識している。この機会や時に鑑み、業務に欠くことが出来ないスマートフォンを全職員に配付すべきと考えるがどうか。

答 直ちに配付する考えはなく、社会情勢等を注視していく

スマートフォンが新たなデジタルツールとして幅広く活用できることは承知しており、民間企業においては、全社員にスマートフォンを配付することで、業務の効率化が図られた事例もあるが、民間で有用なものが、公共においても有用であるとはいえない場合もあることから、導入に当たっては、費用対効果やリスクを検証する必要がある。

津市役所においても、DXを進めていく必要があるが、導入費用や利便性等の観点から、直ちにスマートフォンを全職員に配付する考えはなく、社会情勢や他市の状況を注視していく。

その他の質疑・質問

- 水道の自動検針化について
- 子ども医療費の拡充について
- 奨学金制度について
- 手話通訳アプリの導入について
- 体育館の空調及び分電盤改造について

業務効率化のため、職員全員にスマートフォンの配付を





問 特殊車両の維持について問う

救急出動件数が増加している中、市内においても救急車が常に走行しているイメージがあるが、コロナ禍前の令和元年とコロナ禍の令和4年の救急出動件数ならびに車両の更新基準は。

また、令和5年7月末時点の救急出動件数が昨年の同時期と比べると500件以上増加しているが、整備等により出動できない車両が出てくることも想定される中で、台数は不足していないか。

答 順次計画的に更新するとともに車両が不足しないよう対応する

救急車の出動件数については、令和元年は1万5,899件、令和4年は1万7,589件となっている。また、更新基準については、第三次津市消防力整備計画において、10年または走行距離15万キロメートルとしており、順次、計画的に更新している。

現在、高規格救急自動車13台で救急対応をしており、整備等で運用できない場合や救急要請が一時的に集中した場合などは消防本部が保有する非常用救急車2台を活用することで、救急車が不足する状況とならないよう対応している。

その他の質疑・質問

- 今後の市政運営に向けた職員体制について
- 職員の新規採用の考え方について
- 定年引上げ職員の配置について
- 異常気象への各部の体制について
- 市民への伝達ツールについて
- 各部の緊急体制及び業務内容について

▶ 救急出動に対応している救急車



問 保育士の労働環境改善に向けた考えは

崖っぷち保育ともいわれる保育現場を「子どもよし、保護者よし、保育士よし」の三方よしとするためには、保育士の労働環境の見直しが急務であるが、正規職員と会計年度任用職員の配置の見直し、ICTを活用した業務改善および残業を減らす方策についての考えは。

また、保育現場における課題を把握するための職員へのアンケート調査実施についての考えは。

答 保育現場がより働きやすくなるよう努めていく

合併以後、正規職員は増えているが、どうしてもカバーしきれない部分を会計年度任用職員でカバーしている状況である。ICTは、令和4年4月に公立保育所等全25園に導入したが、システム操作への不安により十分に活用されていない園もあることから、職員を派遣するなどの支援を行っていく。残業を減らすことは大事であり、保育の質を維持しながら業務の見直しを行っていく。

現在は、アンケートは実施していないが、職員組合を通じた意見交換会において現場の声を聞いており、今後も職員の意見に耳を傾け、保育現場がより働きやすくなるよう努めていく。

その他の質疑・質問

- 女性の就業継続支援、働きやすい職場づくりについて
 - 「女性職員活躍サミット」の成果を活かし、女性職員の採用と男性育児休業につながる方策を
 - 津市の空き家対策の現状と取り組みについて
 - 性犯罪等の前歴がある教員の確認を義務化し、児童・生徒の安全確保を

▶ 国・県・市の職場の垣根を越えて、初めて実施された「女性職員活躍サミット」会場の様子



議決結果一覧表

今期定例会では、報告8件、条例の制定1件・一部改正3件、令和5年度補正予算4件、令和4年度決算15件、請願4件、人事案件6件、意見書1件、その他4件の46議案が審議されました。その結果、報告8件を除く、38件は可決、認定、採択、異議なしとされました。

可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で可決・認定・異議なしとされた議案】

議案番号	議案名 概要
議案第55号	津市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について 市民ニーズの複雑化・多様化など公務を取り巻く社会環境が変化し、職員の幅広い能力開発及び資質の向上が求められていることから、地方公務員法の規定に基づく自己啓発等休業制度を導入するため必要な事項を定める条例の制定
議案第56号	津市職員の特殊勤務手当に関する支給条例の一部の改正について 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症の位置付けが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更されたこと、また、人事院規則が改正されたことに伴う所要の改正
議案第57号	津市手数料徴収条例の一部の改正について 河芸町上野地内に新たに建設発生土の処分場を整備することから、建設発生土の処理に関する事務の手数を定めるための所要の改正
議案第58号	津市火災予防条例の一部の改正について 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令が改正されたことに伴う所要の改正
議案第59号	財産の購入について 水槽付消防ポンプ自動車1台の購入 5,609万4,522円
議案第60号	財産の購入について 消防ポンプ自動車1台の購入 2,243万5,154円
議案第61号	財産の購入について 小型動力消防ポンプ付積載車3台の購入 2,905万2,780円
議案第62号	市道路線の認定について 栗真小川町第18号線ほか16路線の認定
議案第64号	令和5年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 国民健康保険事業運営基金積立金等の増による1,319万9,000円の増額補正(事業勘定)
議案第65号	令和5年度津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 償還金等の増による7億2,456万円の増額補正
議案第66号	令和5年度津市一般会計補正予算(第6号) 予防衛生事業の増による4,453万7,000円の増額補正
認定第5号	令和4年度津市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
認定第6号	令和4年度津市共同汚水処理施設事業特別会計歳入歳出決算
認定第7号	令和4年度津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
認定第8号	令和4年度津市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
認定第9号	令和4年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
認定第10号	令和4年度津市棕木財産区特別会計歳入歳出決算
認定第12号	令和4年度津市工業用水道事業会計決算
認定第13号	令和4年度津市下水道事業会計決算
認定第14号	令和4年度津市駐車場事業会計決算
認定第15号	令和4年度津市モーターボート競走事業会計決算
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について 鈴木 恵子
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について 山野 ゆき
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について 柘植 福子
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について 岡野 美次
諮問第6号	人権擁護委員の候補者の推薦について 眞弓 忠
諮問第7号	人権擁護委員の候補者の推薦について 渡辺 敦子

【賛成多数で可決・認定された議案】

議案番号	議案名 概要	賛成しなかった議員
議案第63号	令和5年度津市一般会計補正予算(第5号) 基金管理事業、生活保護事務事業、予防衛生事業等の増による11億4,843万6,000円の増額補正	岡村武(拒否)

議案番号	議案名 概要	賛成しなかった議員
認定第1号	令和4年度津市一般会計歳入歳出決算 <<反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員>> 医療費の窓口無料化の対象を高校生や障がい者へ拡大する検討がなされていないこと、小中学校の給食費の無償化または保護者の負担軽減の検討がなされていないこと、高齢者に対する带状疱疹ワクチンおよび補聴器購入に当たっての補助などが検討されていないこと、マイナンバーカードを取得した人のみにシルバーエミカを交付するのは不公平であること、リニア推進のための調査を行っているが、開発に当たって発生する残土の処理、工事中の事故、水問題などが指摘されていること、旧統一教会の関連団体に対する補助が支出されていることは、行政の判断として不適切であると考えことから反対する。	滝勝弘、中野裕子、岡村武 (拒否)
認定第2号	令和4年度津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 <<反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員>> 保険料が高くなる要因として、加入世帯の人数に応じ赤ちゃんからかかる均等割があり、令和4年4月から未就学児の均等割額が5割軽減になったものの、それでも保険料は高い。負担能力を超える保険料を払いきれない人に対する短期証や資格証の発行は差別を持ち込むものである。比較的所得の低い方が多く加入している保険であることから、市民の命と健康を脅かす保険証の取り上げはやめるべきであり、すべての加入者が安心して医療にかかれるようにすべきとの立場から反対する。	滝勝弘、中野裕子
認定第3号	令和4年度津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算 <<反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員>> わずかな年金からでさえ保険料が天引きされる一方で、介護が必要になっても利用料が払えず、介護保険が利用できない人も多くいる。また、特別養護老人ホームの待機者は251名とのことであり、介護職員の不足も切実である。まさに保険あって介護なしと考えることから反対する。	滝勝弘、中野裕子、福田慶一
認定第4号	令和4年度津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算 <<反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員>> この制度は、75歳という年齢ですべての医療制度から排除し差別される制度である。高齢者の医療差別をなくし、安心して医療にかかれるようにすべきという観点から反対する。	滝勝弘、中野裕子
認定第11号	令和4年度津市水道事業会計決算 <<反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員>> 県営水道の必要以上の契約により水道事業会計が圧迫されている中、県営水道の占める割合がさらに高まっている。大規模地震を考えると、遠くから運んでくる水より近くからの地産地消の水をしっかりと確保することが必要であるとの立場から反対する。	滝勝弘、中野裕子
意見書第1号	核兵器のない世界の実現に向けた取組の推進を求める意見書について <<賛成討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員>> 核抑止力論はもはや成り立たず、核兵器の脅威を根絶するには核兵器廃絶以外にない。今年8月4日に原水爆禁止世界大会が採択した長崎からの呼び掛けでは、日本政府に核兵器禁止条約への参加とともに、第2回締約国会議に少なくともオブザーバー参加し、被害者救援への国際協力に加わることを求めており、今回の意見書案と同じ立場と考えられるものであることから賛成する。 <<賛成討論 公明党議員団 青山 昇武議員>> 核兵器の被害者支援や環境修復の活動は核兵器禁止条約ならでは内容であり、こうした分野であれば、核保有国の参加がなくても推進ができることに加え、核兵器廃絶を求める全国の自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会は5月29日に総会を開き、日本政府に対して第2回締約国会議にオブザーバー参加するよう求める決議を採択している。核兵器の先制不使用の誓約は現状の核保有数を当面維持したままでも踏み出すことのできる政策であり、核抑止を前提とした核兵器の絶えざる増強ではなく、悲劇を防止するための核軍縮へと世界全体の方向性を変える可能性がある。「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議で示されたメッセージの中に、非核兵器地帯の重要な役割を支持しつつ、消極的安全保障を維持拡大することとあることから賛成する。	渡辺晃一、岡村武、長谷川植 (拒否)

報 告

議案番号	議案名 概要
報告第25号	専決処分の報告について 倒木事故による損害賠償額の決定 41万7,500円
報告第26号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 16万4,980円
報告第27号	専決処分の報告について 廃棄物の処理に伴う事故による損害賠償額の決定 31万1,663円
報告第28号	令和4年度津市継続費精算報告書について
報告第29号	令和4年度津市水道事業会計継続費精算報告書について
報告第30号	令和4年度津市下水道事業会計継続費精算報告書について
報告第31号	令和4年度決算に係る健全化判断比率の報告について
報告第32号	令和4年度決算に係る資金不足比率の報告について

採択された請願

【全会一致（出席全議員が賛成）で採択された請願】

議案番号	議案名 概要
請願第6号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書 経済格差を教育格差に結び付けず、全ての子どもたちの学ぶ機会を保障するため、子どもの貧困対策の推進と就学・修学保障制度の拡充を国の関係機関へ働きかけるよう請願する。
請願第7号	教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書 子どもたちの「豊かな学び」の保障に向け、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および全ての校種における学級編成と教職員定数の標準を改善する新たな教職員定数改善計画の策定と実施ならびに公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備を進めていくことを国の関係機関へ働きかけるよう請願する。
請願第8号	防災対策の充実を求める請願書 子どもたちの安全・安心を確保するため、津波に対する安全性が確保されない学校の高台移転や高層化などの対策が求められている。津波対策のための不適格改築事業の補助要件の緩和、補助対象の拡大等支援制度の拡充を図るとともに、避難所についても国の責任において山積する課題を改善し、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を進めることを国の関係機関へ働きかけるよう請願する。

議案番号	議案名 概要
請願第9号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書 かつて国の財源措置の対象であった義務教育の教材費等は、現在は地方財政措置による一般財源としての措置となっている。義務教育の水準が各自治体の財政力に左右されることなく安定的に確保されるために、国が責任を果たすとの理念に立ち、必要な財源を確保する義務教育費国庫負担制度の存続および措置の対象の拡充を含めたさらなる充実について国の関係機関へ働きかけるよう請願する。

常任委員会が先進自治体を視察

令和5年7月19日から21日にかけて総務財政委員会が、県外の先進自治体への視察を行いました。それぞれの委員が、調査項目に係る課題について理解を深め、今後の議会活動に生かすため、他の自治体の先進的な事例を学びました。

総務財政委員会 7月19日～21日

北海道苫小牧市

- 地域活動の促進について
(地域活動のデジタル化、町内会向け広報、まちかどミーティングの取り組み)

北海道千歳市

- 千歳市人口戦略プロジェクトについて
(社会増の拡大、自然増の維持、交流人口の拡大・関係人口の創出の取り組み)

北海道小樽市

- 小樽市国民保護計画及び津波対策について
(国民保護に関する措置および住民の避難の仕組み、津波対策「自助・共助・公助」の重要性)



苫小牧市での視察

決算特別委員会を開催

今期定例会では、9月15日に決算特別委員会が開催されました。

令和4年度津市一般会計歳入歳出決算のほか、特別会計9件、公営企業会計5件が審査され、全て認定されました。



▲令和4年度津市一般会計歳入歳出決算書等

議会日誌

令和5年8月1日～令和5年10月31日

8月 9日	全員協議会、会派代表者会議	9月12日	教育厚生委員会
21日	議会運営委員会	13日	経済環境委員会
28日	本会議 (開会日)	14日	総務財政委員会
30日	議会運営委員会	15日	決算特別委員会
9月 4日	本会議 (質問日)、会派代表者会議	26日	議会運営委員会、会派代表者会議
5日	本会議 (質問日)	27日	本会議 (閉会日)、議会だより編集委員会
6日	本会議 (質問日)、議会運営委員会、 会派代表者会議	10月18日～20日	議会運営委員会管外視察 (山口市・中津市・佐賀市)
7日	本会議 (質問日)	24日	議会だより編集委員会
11日	建設水道委員会		

本会議・委員会の模様を映像配信しています！

令和5年第4回定例会の本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信する予定です。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組（デジタル123チャンネル）でも本会議の模様を録画放送する予定です。

放送日程等は、決まり次第ケーブルテレビ等でお知らせします。



津市議会のホームページにアクセスできます。

津市議会ホームページから、「映像配信」にアクセスすると、ライブ映像、録画放送が視聴できます。



令和5年第4回定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
	11/27 本会議 開会日	28	29 議会運営 委員会	30	12/1	2
3	4 本会議 質問日	5 本会議 質問日	6 本会議 質問日	7 本会議 質問日	8	9
10	11 建設水道 委員会	12 教育厚生 委員会	13 経済環境 委員会	14 総務財政 委員会	15	16
17	18	19 議会運営 委員会	20 本会議 閉会日	21	22	23

日程は変更になる場合があります。
その場合は津市議会ホームページでお知らせします。



編集後記

第71号をお読みいただきありがとうございます。

津市議会では、「議会基本条例」の制定を目指してワーキンググループを3月に発足し、議会運営の在り方などについて検討を重ねています。また、効率的な議会活動、会議の運営および政務活動に資するため、12月にタブレット端末を導入する予定です。今後も議員力の向上と議会の活性化を目指してまいります。

津市議会 あれこれ

身体障害者手帳の交付を受けた聴覚障がい、音声または言語機能に障がいのある方が本会議を傍聴される場合、希望に応じて手話通訳や要約筆記を行っています。利用者の費用負担はありません。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

つ市議会だより 第71号

年4回発行（5月・8月・11月・2月）

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和5年11月16日／津市議会

津市西丸之内23番1号

TEL 059 (229) 3222

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆<https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/>

印刷◆共立印刷株式会社